



国際労働組合

50th
anniversary

創立50周年記念行事



ひと ゆめ みどり
第67回 信濃から 未来へつなぐ 森づくり

全国植樹祭 ながの 2016

許諾番号 26 全植長 85-24

国際労働組合は第67回全国植樹祭を応援しています。

国際労働組合は来年4月17日に組合創立50周年を迎えます。

永年に亘り国際労働組合の運動・活動にご理解ご協力いただいたすべての組合員の皆さんに感謝申し上げ、共に50周年を祝いたいと思います。

私たちはハイタク・バス事業という地球温暖化ガス排出企業における労働組合として、アクションプランに基づき2012年から長野県有林整備事業によるカーボンオフセット・クレジットの購入を通じた社会貢献に取り組んでおり、これまでに38トンの二酸化炭素（タクシー131,000km走行相当）をオフセットしてきました。

組合創立50周年にあたり、私たちの取り組みに相応しい社会的に意義のある記念行事とすべく、来年6月に開催される「第67回全国植樹祭」に組合員の心を込めた寄付を行います。

全国植樹祭は天皇・皇后両陛下がご出席される「三大行幸啓」のひとつであり、国土緑化計画に基づくものとして来年6月に長野県で開催されます。

国際労働組合と長野県のご縁は、組合の福利厚生施設として「タングラム」の会員となったことに始まり、「ゆうゆうサークル」「スキーツアー&スクール」など数多くの行事を開催するなど永年に亘ったお付き合いをしてきました。また、国際自動車「ふるさと協定」を締結したこともあり、東日本大震災で都内の食糧が不足した際に大量の食糧を送っていただき、私たちを助けていただいた所縁の深い県でもあります。

その長野県で開催される全国植樹祭に協賛することは、国際労働組合らしい社会的に意義のある取り組みとしてのみならず、わずかであっても恩返しになるものとして全組合員が誇りを持ち、共に祝えるものと確信しております。

2015年10月吉日

中央執行委員長
茨木 不尽彦